

地理初步

K110,25
101

K110.25

101

師範學校編纂

地理初步

明治八年
一月改正 文部省

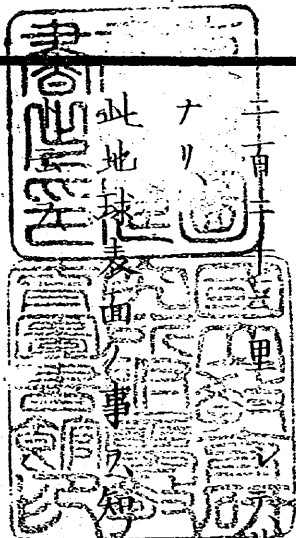
地理初步

第一

人民住居スル所ノ地球ハ一ノ行星ニシテ其形
圓キコト、瑣瑣ノ如シ、

地球ノ中徑ハ東西凡三千二百三十四里ニシテ、
其周圍ハ凡一萬零百三十五里ナリ南北凡三千
二百三十四里ニシテ、其周圍ハ一萬零百三十里

ナリ、
此地ヲ知リ得ル學ヲオカサヒ



地理初步

文部省

「ゼオガラヒ」トハ、即地理學ト云フ義ニシテ地
 球表面ノ事ヲ説キ明スナリ、
 地理學ニ三種アリ○「ナチラ」ハ「ポリチカル」マ
 テマチカルト云フ○「ナチラ」ハ「ゼオガラヒ」
 ハ地形、山川、海島ナドノ自然ニ由ルモノヲ説キ
 明ス學ナリ○「ポリチカル」ハ「ゼオガラヒ」ハ都府
 郡縣、城市、ナドノ政治ヨリ出ルモノヲ説キ明ス
 學ナリ○「マテマチカル」ハ「ゼオガラヒ」ハ地球ノ
 運動、方角、里數ナドノ數學ニ關スルモノヲ説キ
 明ス學ナリ、

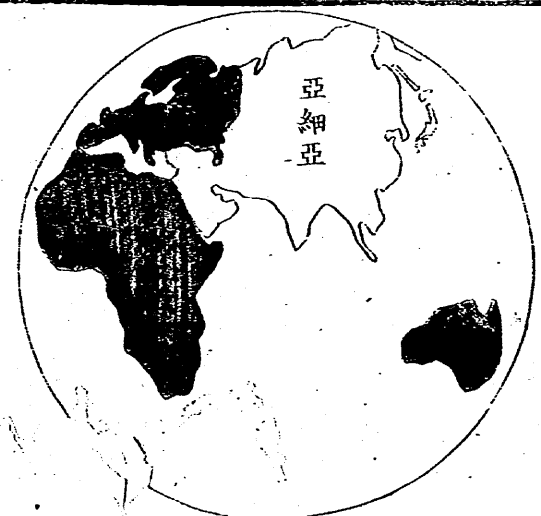
第二

人民ノ住居スル所ハ地球ノ外面ナリ
 地球ノ外面ハ陸ト水トニヨリテ成レルナリ然
 レトモ、水ト陸トハ其大サ同シカラズレテ水ハ
 陸ニ比ブレハ殆三倍ノ大サアリ
 地球ノ外面ニアレ陸ト水トヲ示ス圖ヲ地圖ト
 云フ、其地圖ニハ、全地球ヲ示ス者アリ或ハ半面
 ヲ示スモノアリ、
 地圖ヲ東西ニ分チテ東ノ半面ヲ示シタルヲ東
 半球ノ圖ト云ヒ、西ノ半面ヲ示シタルヲ西半球

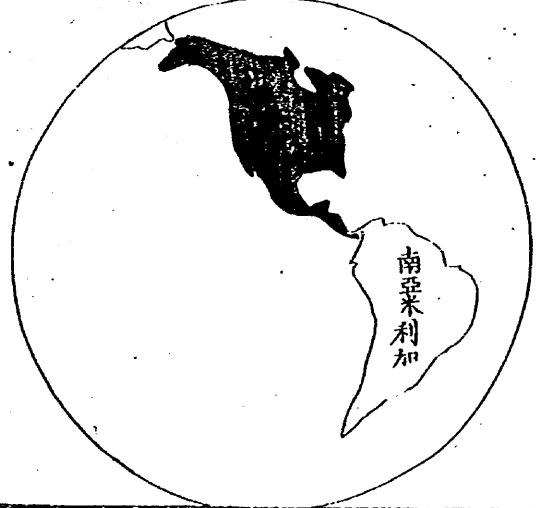
地球の方位

ノ圖ト云フ

東半球圖

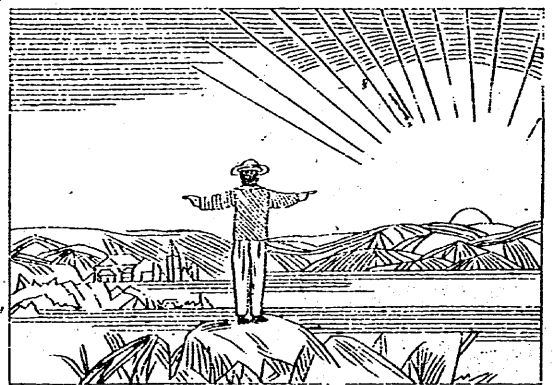


西半球圖



第三

地球ニ、四個ノ方位アリコレヲ、東西南北ト云フ、



今圖ヲ以テ、東西南北ヲ示サシ
此小兒ノ、右ノ手ハ朝日ノ方
ヲ指シ、左ノ手ハ夕日ノ方ヲ
指セリ、是小兒ノ右ヲ東トシ、
小兒ノ左ヲ西トスルヲ知ル
ベシ、然ラバ小兒ノ背ハ南ニ
シテ、西ハ北ニ向ヘリ

地理の図

三

大正

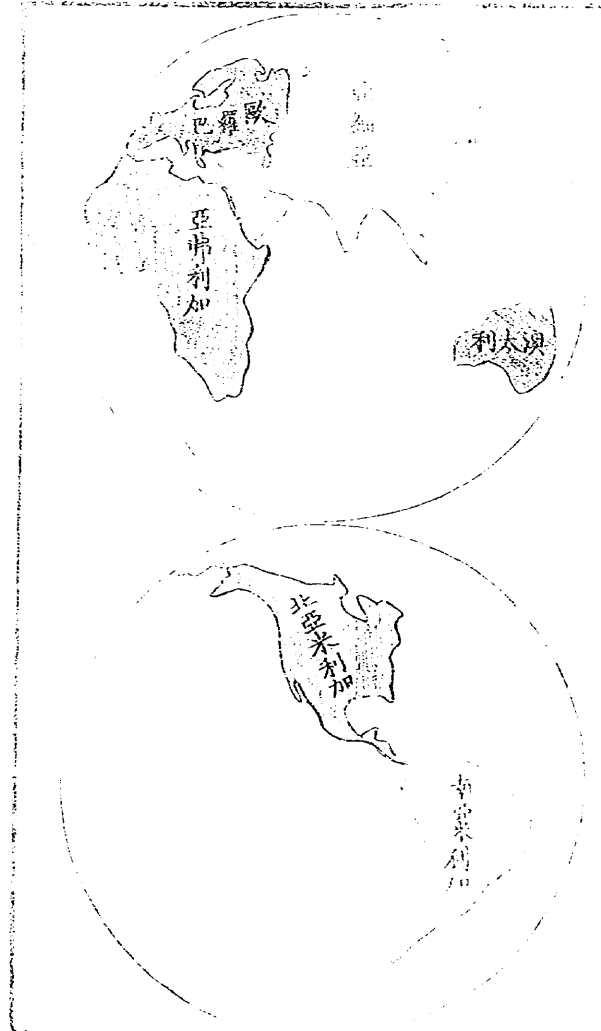
第三



地球ニ、四個ノ方位アリ、コレヲ、東西南北ト云フ

今圖ヲ以テ、東西南北ヲ示セ
ン
此小兒ノ、右ノ手ハ朝日ノ方
ヲ指シ、左ノ手ハ夕日ノ方
ヲ指セリ、是小兒ノ右ヲ東トシ、
小兒ノ左ヲ西トスルヲ知ル
ベシ、然ラバ、小兒ノ背ハ南
ニシテ、面ハ北ニ向ヘリ

露光量調整、重複撮影



西半球圖

圖ト云フ

此方位ヲ地球ノ四方ト云ス

第四

東西南北ニ又中間ノ方位アリ東北西北東南西南是ナリ

地球ハ中彩色ヲ施セル部令ス陸トス其白キ者ハ水ナリ

爰ニ畫ケルハ地球上ノ三大陸ニシテ其周邊ハ大洋ナリ大洋トハ海ノ大ナル者ヲ云フ三大陸ハ東大陸西大陸及澳大利ニシテ東大陸又分チテ三大洲トスコレニ西大陸及澳大利ヲ合セテ

五大洲ト稱ス

五大洲ノ中四大洲ハ東半球ニアリ亞細亞 歐

羅巴 澳大利 亞弗利加ノ四洲即是ナリ

西半球ニ在ル大陸ハ北亞米利加 南亞米利加ナリ

此五大洲ノ中尤大ナルモノハ亞細亞ニシテ尤小ナルモノハ澳大利ナリ

此東西二球ヲ合セテ全地球トス

第五

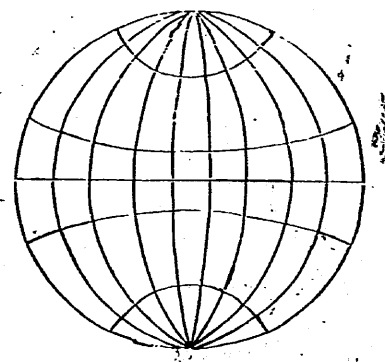
地圖ノ頂上ニ偏リタルヲ北部ノ國ト云ヒ右傍

ニ在ルヲ、東部ノ國ト云フ下方ハ、南部ノ國ニシテ、左傍ハ稱シテ、西部ノ國ト云ヘリ、地球ノ表面ニ縱横ノ線アリ、其南北ニ引キタル線ヲ、經線ト云ヒ、東西ニ引キタル線ヲ、緯線ト云フ、緯線中央ニ在ル者ヲ、赤道トス、緯線ハ、地球ヲ一周スル所ノ圓ニシテ等シク其間ヲ畫スルヲ以テ南北ニ至ルニ隨ヒ、其周圍漸小トナルナリ、○經線ハ、皆南北ノ極ヨリ、引キ出ダシタル圓ナルヲ以テ、其長サハ、同シト雖、兩線ノ間、各差違アリ、

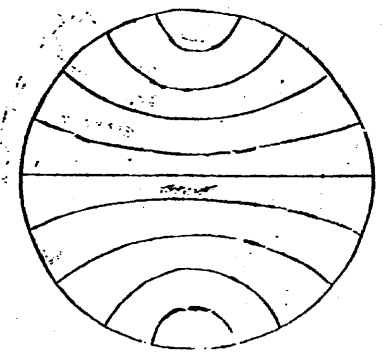
此經緯ノ線ハ各三百六十アリテ、線ト線トノ間ヌ一度ト云ス、此緯線ノ度ヲ數フルニハ、赤道ヨリ數ヘテ南北ニ至ルナリ、假如ヘバ、赤道ヲ零度ト定メテソレヨリ、此ヘニ線ヲ隔ツレバ、北緯二度ト云ヒ、南ヘニ線ヲ隔ツレバ、南緯三度ト云フノ類ナリ、但經線ニハ、其本ト定ムベキ所ナレバ、我國ニテハ、東京ヲ本トシコレヨリ、西經幾度、東經幾度ト數フルナリ、赤道ヨリ南北共ニ、二十三度半ニシテ、各一線ア

以北ニアルヲ夏至線ト云ヒ、南ニアルヲ冬至線
 ト云フ、此ニ線ノ間ハ氣候極メテ熱シ、故ニ稱シ
 テ熱帶ノ地ト云フ、○南北ノ極ヨリ、二十三度半
 ニシテ各一線アリ、此ニアルヲ北極線ト云ヒ、南
 ニアルヲ南極線ト云フ、此ニ線ト南北極ノ間ハ
 氣候極メテ寒シ、故ニ寒帶ノ地ト稱ス、○極線ト
 一至線トノ間ハ、其氣候寒暖中ヲ得ルニ因リ、稱
 シテ中帶ノ地ト云フナリ

經線圖



緯線圖



第六

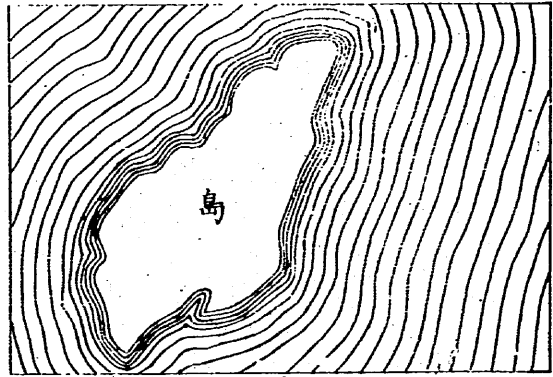
地球上ニ、五大洋アリ、太平洋、大西洋、印度洋、南氷
 洋、北氷洋ナリ

北冰洋ハ西半球ト東半球トハ北部ニ在ルヲ云フ
 ○太平洋ハ東半球ハ東部ト西半球ハ西部トニ在ルヲ云フ
 ○印度洋ハ東半球ハ中央ニアリ
 ○南冰洋ハ西半球ト東半球トハ南方ニアリ
 ○大西洋ハ西半球ハ東部ト東半球ハ西部トニアルヲ云フナリ
 ○此五大洋其在ル所ハ地方ヲ以テ言ヘバ北冰洋ハ北亞米利加ハ北ト歐羅巴及亞細亞トハ北ニアリ大西洋ハ亞細亞ハ東ト南ト北亞米利加トハ西ニアリ印度洋ハ亞弗利加トハ東ニアリ大西洋ハ歐羅巴ト亞弗利加トハ西ニ

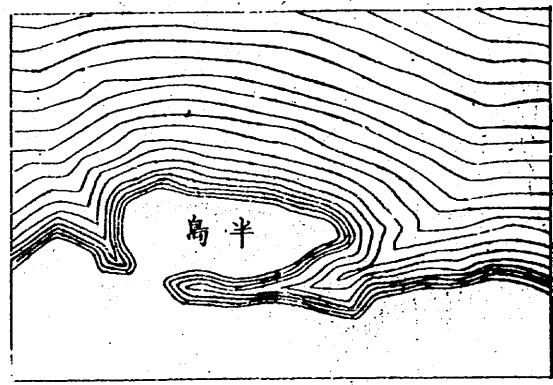
アリ

第七

島 圖



半島 圖



地理の要

七

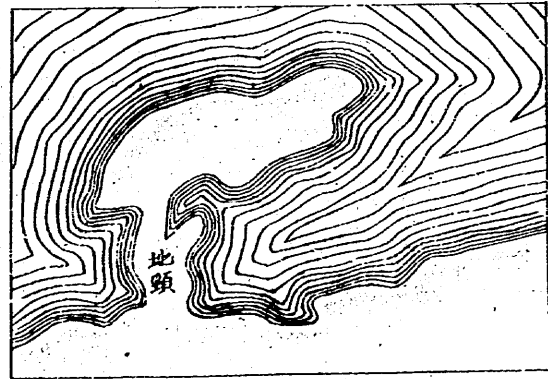
八

水四周ヲ圍ミタル地ヲ島ト云フ其形ハ三大陸ニ同シト雖小ナルヲ以テ名ヲ異ニセルナリ

大陸ニ續キタル半島ト云フ

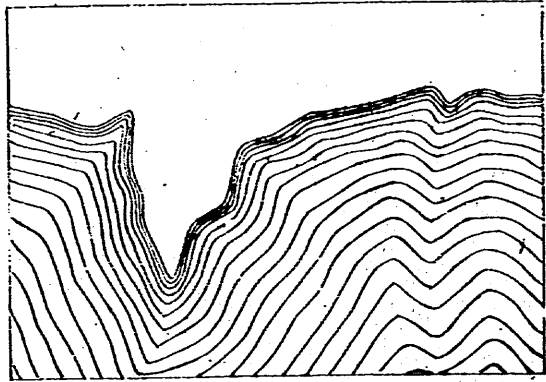
地頭圖

半島ト大陸ト續キタル其間ノ細クシテ且長キ地ヲ地頭ト云フ大地ノ一角尖ヲナシテ遠ク海中ニ突キ出デタ

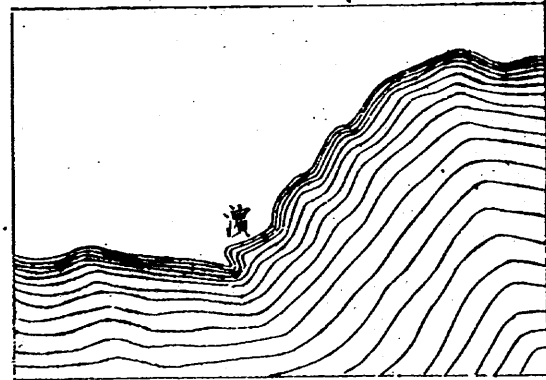


ル所ヲ崎ト云フ

崎圖



濱圖



陸地ノ長ク海ニ沿ヒタル所ヲ濱ト云フ

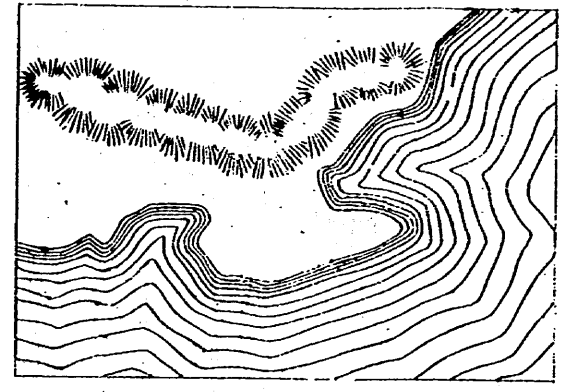
地理初歩

陸地上ニ、土石高く起レルモノヲ、山ト云フ、
 山ノ較小ニシテ、低キ者ヲ岡ト云フ、

山 圖



嶺 圖



兩山ノ間ヲ谷ト云フ、
 山々相接シテ、長ク且レルヲ嶺ト云フ、
 山巔或ハ山背ニ、穴アリテ、常ニ火烟ヲ噴キ出ダスヲ火山ト云フ、
 火山ハ、時アリテ、燒石、浮石等ヲ噴キ出ダス者ナリ、
 地ノ廣平ナル者ヲ原ト云フ、

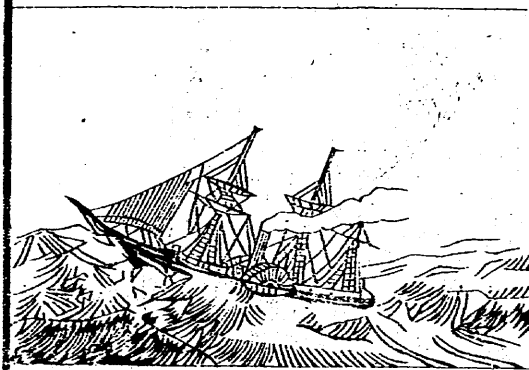
火 山 圖



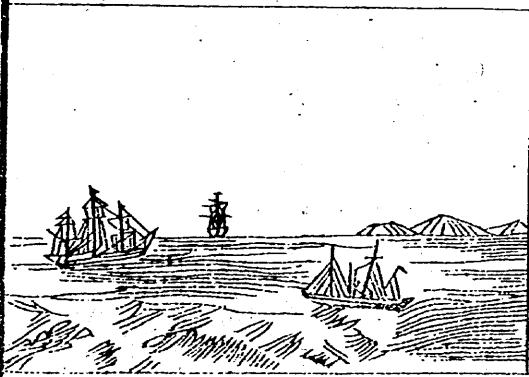
至ル所皆沙ニシテ水草ナキ又沙漠ト云ス

大洋トハ海ノ廣大ナルモノヲ云ス

大洋圖

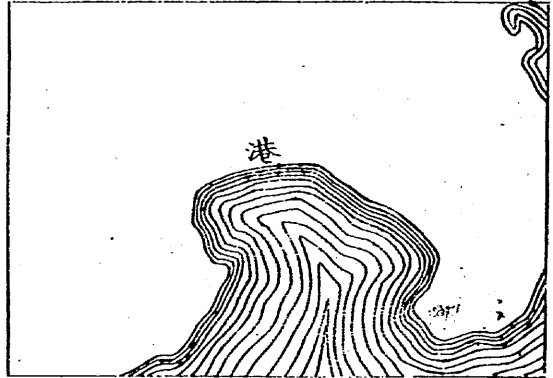


海圖

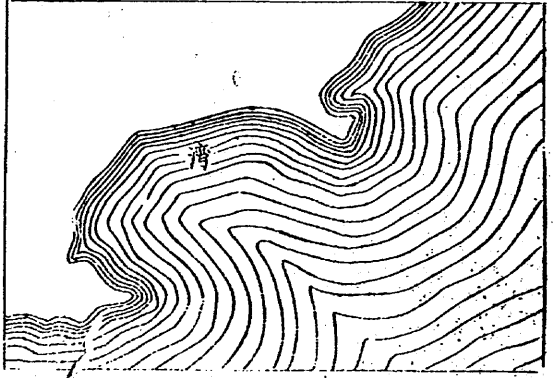


海トハ兩陸ノ間ニ介マリタル所ヲ云ス即大洋ノ分レタルナリ

港圖

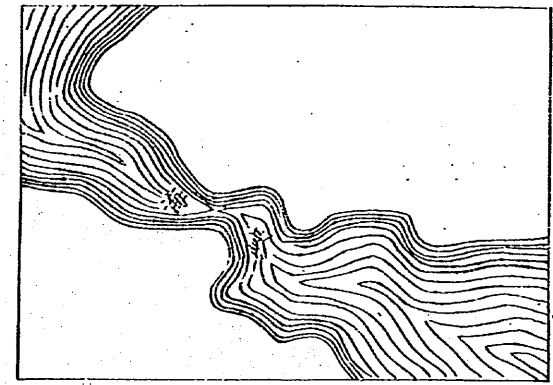


灣圖

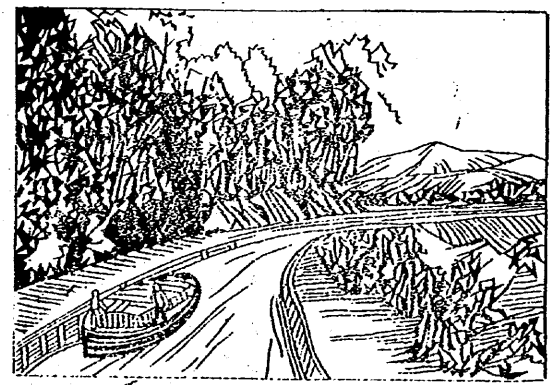


海ノ深ク陸地ニ入りテ船ヲ泊スルニ便ナル處
ヲ港ト云ス

海峽圖



溝圖



水ノ陸地ニ入りテ灣ト云ス

陸地ノ間ニアリテ海水互ニ相通スル狹キ所ヲ

海峽ト云ス

溝ハ人工ヲ以テ鑿チ

通ジタル者ニテ物

ヲ運漕スルニ用井ル

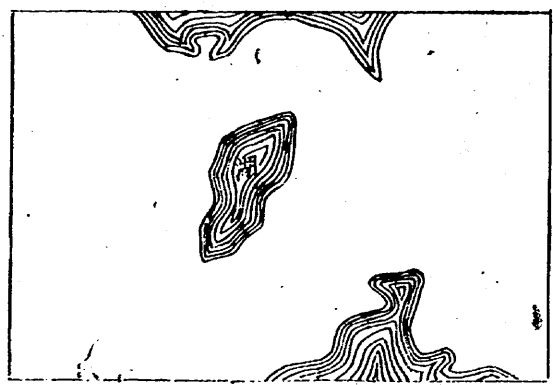
水流ナリ

四面全ク陸地ヲ以テ

圍ミタル處ヲ湖ト云

ス其中或ハ一方河海

湖圖



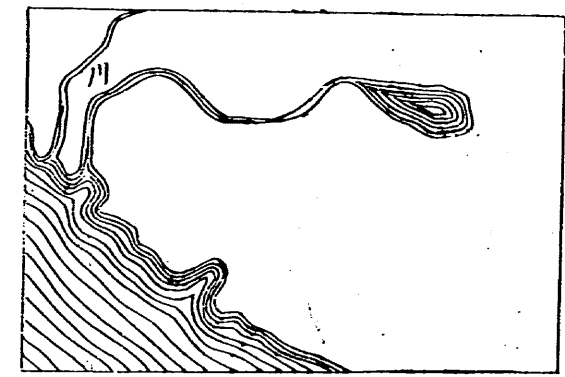
地理初歩

土

ノ

ニ通ズルモノアリ
川ハ陸地ノ間ヲ流ル、水ヲ云ス

川 圖



瀑 圖



川水人始メテ流レ出ヅル所ヲ源ト云ス
其流小ナルモノヲ小川ト云フ、大船ノ往來スベキモノヲ大河ト云フ
水ノ山上、或ハ高キ所ヨリ急ニ低キ地ニ落テ下
タルモノヲ瀑ト云フ

地理初歩終 一終

明治十五年三月十五日反刻御届
同年四月 出版

長野縣平民

伊藤甲造

信濃國小縣郡苗町
千石三番地

地理初版

五

文部省

